

製品名: 肝臓アルギナーゼウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86827**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	Calculated MW:35 kDa; Observed MW:35 kDa

抗原情報

遺伝子名	Liver Arginase
別名	ARG1
遺伝子 ID	383
SwissProt ID	P05089
免疫原	ヒト肝臓アルギナーゼの合成ペプチド

背景

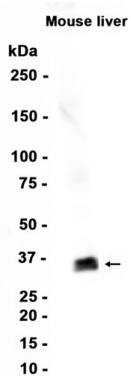
アルギナーゼは、アルギニンをオルニチンと尿素に加水分解する触媒作用を担う。哺乳類アルギナーゼには少なくとも2つのアイソ

フォーム (I型とII型) が存在し、組織分布、細胞内局在、免疫学的交差反応性、および生理学的機能がそれぞれ異なる。この遺伝子によってコードされるI型アイソフォームは細胞質酵素であり、主に肝臓で尿素回路の構成要素として発現する。この酵素の遺伝性欠損は、高アンモニア血症を特徴とする常染色体劣性疾患であるアルギニン血症を引き起こす。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする2つの転写バリエーションが見出されている。[RefSeq 提供、2011年9月]

研究分野

-

画像データ



肝臓アルギナーゼウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用してマウス肝臓組織抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。